

令和2年3月16日

東北大学未来科学技術共同研究センター  
郡山市産業観光部産業創出課



## 東北大学未来科学技術共同研究センターと郡山市との連携協力 に関する協定締結式

日ごろより諸活動への御理解、御協力を賜り感謝申し上げます。

さて、東北大学未来科学技術共同研究センターと郡山市は、下記により連携協力に関する協定を締結することとなりましたので、お知らせします。

### 記

#### 1 協定締結式

- (1) 日 時 令和2年3月16日（月） 15:00～ 30分程度
- (2) 場 所 郡山市役所2階 庁議室  
(福島県郡山市朝日1丁目23-7)
- (3) 出席予定者 東北大学未来科学技術共同研究センター長、郡山市長 他

#### 2 協定締結の目的

東北大学未来科学技術共同研究センターと郡山市は、密接な連携と協力により、大学から創出される先進的な研究開発成果を活用した、地域経済発展のための地域経済産業活性化システム構築に向けた取り組みを通じ、学術研究と地域社会の発展に資することを目的として、協定を締結するもの。

#### 3 協定締結の詳細 (別紙参照)

#### 4 その他

本来は皆様に直接ご取材していただきたいところではございますが、新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大の状況に鑑み、記事掲載のご依頼のみをさせて頂きます。

何卒ご了承のほどお願い申し上げます。

連携概要

◇目的

東北大学 未来科学技術共同研究センター(以下「NiChe」※という。)と郡山市は、大学から創出される先進的な研究開発成果を活用した地域経済産業活性化システム構築により、地域経済発展に寄与することを目的とする。

※ NiChe: New Industry Creation Hatchery Center の略。ニッチェと呼称する。

◇連絡会議の設置

目的を達成するため NiChe と郡山市による連絡会議を設置する。

◇連携事項

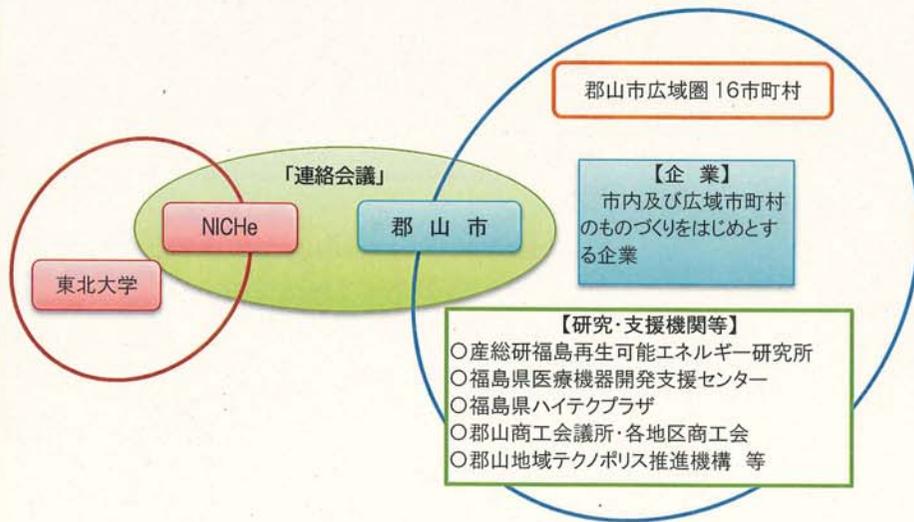
- 1 産業振興に関する事項
- 2 環境の保全に関する事項
- 3 人材の育成に関する事項
- 4 防災・減災に関する事項
- 5 SDGs の推進に関する事項
- 6 その他目的を達成するために必要と認められる事項



連絡会議

両者による連絡会議の協議を踏まえ、大学のシーズ、郡山広域圏経済におけるニーズ等のマッチングを図り郡山広域圏の地域経済産業活性化システムを形成する。

内容によっては、他機関も参加するなど柔軟に実施する。



連携事項

1 産業振興に関する事項

- (1) NiChe と広域圏企業による共同研究の実施
- (2) 広域圏企業による研究プロジェクトへの参画
- (3) 東北大学に所在する医療・福祉機器開発などのシーズと広域圏企業の技術の連携の実施
- (4) その他、広域圏経済発展に寄与すること など

2 環境の保全に関する事項

- (1) 再生可能エネルギー技術に関する連携、共同研究の推進
- (2) 環境に優しく災害に強いまちづくりのための連携 など

3 人材の育成に関する事項

- (1) 東北大学等のシーズを活かした産業人材の育成を支援。
- (2) 地域住民のニーズに対応する様々なセミナーへの教員の派遣 など

4 防災・減災に関する事項

- (1) 安心・安全・利便を追求したロジスティック交通システムの開発・実証
- (2) 安全かつ高信頼性を追求したエネルギー供給システムの普及 など

5 SDGs の推進に関する事項

6 その他目的を達成するために必要と認められる事項

■郡山市

- 人口 331,472 人
  - 世帯数 142,914 世帯 } ※R2.3.1 現在
  - 市の特色 県の中央部に位置し、「人」「物」「情報」が交流する「経済県都」。
- 平成9年に中核市に移行。大学等高等教育機関や産学官の連携推進により、「持続可能な郡山の創生」を目指している。

■東北大学 未来科学技術共同研究センター(NiChe)

大学の知的資源をもとに、産業界等外部と連携し、社会の要請に応える新しい技術・製品の実用化並びに新しい産業の創出を社会へ提案することを目指している。

- 設立 平成10年
- NiChe 発ベンチャー企業 30 社以上の設立を支援
- ボールウェーブ(株) ボール SAW センサの開発・設計・製造・加工
- (株)未来エナジーラボ リチウムイオン電池研究開発と量産試作 ほか
- 研究プロジェクト
- 18プロジェクト(令和2年3月時点)